

2006年度 第1回街づくりアンケート結果報告



本年7月に実施したつくし野三丁目「第1回街づくりアンケート」は、314名（※）の皆様にご協力いただき、貴重なご意見・データを得ることができました。ありがとうございました。また、自治会委員の方々には、配布や回収に多くのご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。（※ 調査概要：配布458戸、有効回収314戸、回収率68.6%）

アンケートは今後も数回予定しておりますが、この度の第1回では「建築協約や現在のわが街についての基本認識」をお聞きしたところ、皆様のこの街への愛着、住環境に対する意識の高さ、街づくり活動へのご理解などが確認でき、大変心強く、大いに勇気付けられた次第です。

以下、アンケート結果の概要をご報告申し上げます。

(1) ご回答いただいた皆様の年齢層・永住意識

★転居予定の方はわずか5%、永住を希望される方が75%ときわめて多いことがわかりました。

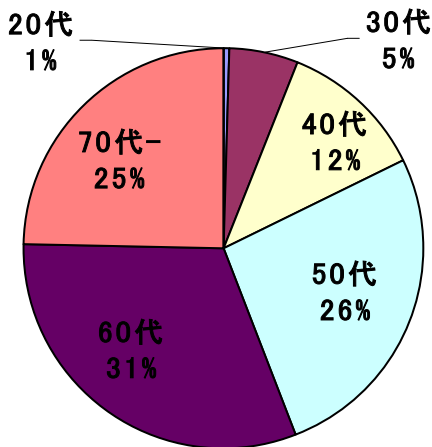


図1: 年齢層

回答者属性 年齢

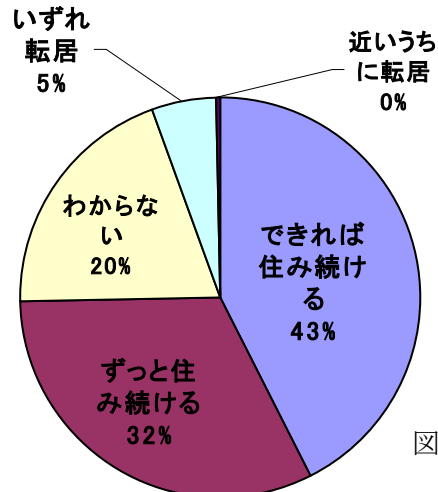


図2: 永住意識

住み続けたいと思いますか

<年齢層>

アンケート回答者314名で見ると、つくし野三丁目は「20年以上この街に住む60代以上の世帯主がおよそ半数を占める街」ということとなります。（図1）

☆住み始めた年の回答から：在住30年以上 44%、20～29年 18%、10～19年 18% 10年未満 19%

<永住意識>

そして、その多くの方がこの街を愛し、ここに住み続けることを望み、住みよい暮らし・住環境の維持を望まれている方が多いことがわかりました。（図2）

☆図1・2はご回答いただいた世帯主の構成比です。一方、住民基本台帳によるつくし野三丁目の人口は今年8月現在1486人、内60代以上は33%（図1では56%）、20~30代は25%（図1では6%）と、人口ベースでは若い人達もしっかり住んでいます。しかし、世帯主を対象とした今回のアンケートでは、こうした若い年齢層の意向は十分には反映されていません。2回目以降のアンケートでいかにご意見を伺うことができるか、今後の課題だと考えています。

## <年代別特徴>

### ■60代・70代以上

6割の方が居住30年以上、永住希望も8割と高く、街への愛着や協約等の理解も深い年代。

### ■50代

居住年数は20年以上と20年未満がそれぞれ半数。永住希望は7割、わからないと転居をあわせて3割とやや高め。揺れる世代でしょうか。

### ■40代以下

最近の転入者が多く、居住年数10年未満が6割。ただ永住希望は50代より高く、特に30代では8割を超えています。



## (2) 建築協約関係について

### ★建築協約の効果・その現状・用途地域等をよく理解され、住環境に対する関心も高いことがわかりました。

居住が長いことや看板等でのPR効果か、ほとんどの皆さんが、建築協約については正しく認識されていました。

YES 回答	
■建築協約を知っている	99%
■協約内容の正しい理解	
宅地広さ最低 165 m <sup>2</sup>	87%、(50坪縛り)
建築種類・高さ制限	88% (法より厳しい)
土地用途地域・建蔽率	87% (低層戸建て)
住環境維持に有効	83%
■協約の現状認識	
守られにくくなった	76% (民間で確認申請可能に)
地区計画との違い	49%

(地区計画への理解はまだ充分ではないが、協約をとりまく状況の変化は認識)

### ■将来に向かって、どんな街になったら良いか(複数回答)

グラフのように、高齢者志向が若干高めですが、4つの期待・希望がほぼ同数になりました。

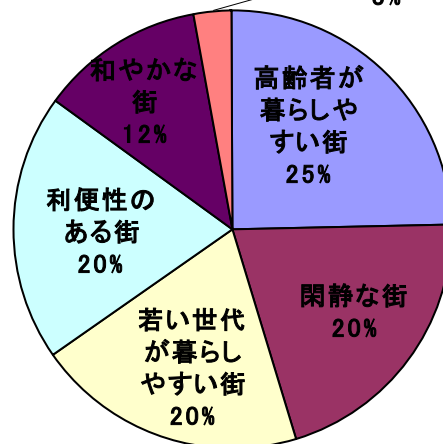
しかし、年齢別で分析してみると

・ 閑静と利便性 **60代以上**：閑静>利便性、**50代**：利便性>閑静、

**40代以下**：閑静>利便性

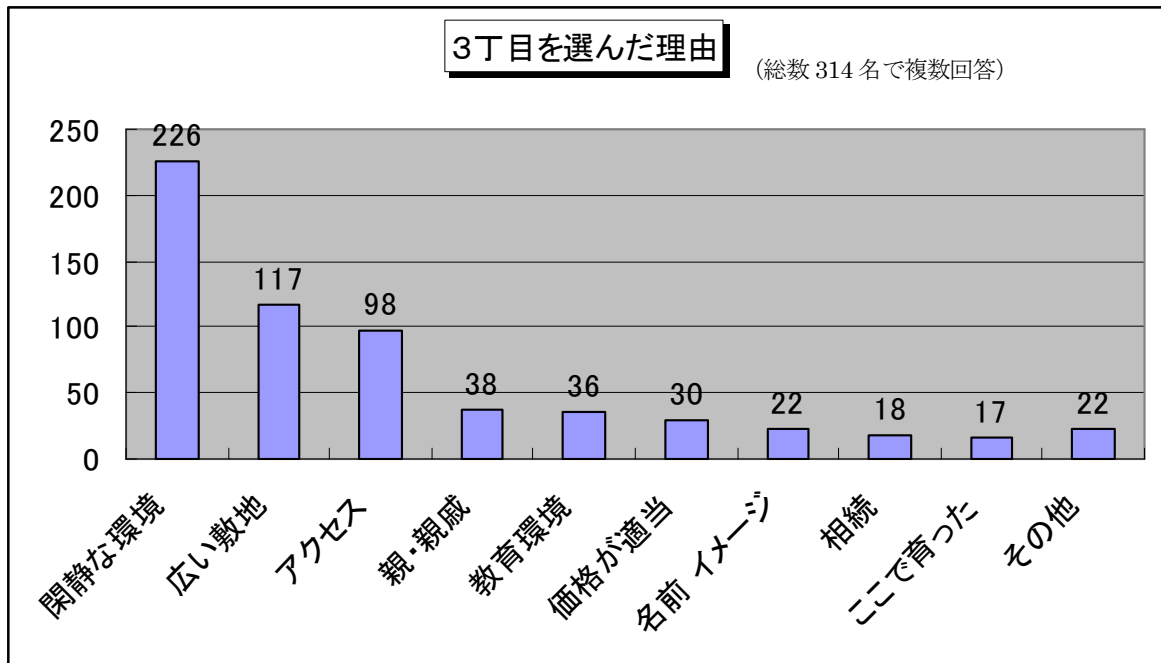
・ 高齢者と若い世代 高齢層が若い世代の暮らし易さを、若い世代が高齢者の暮らし易さを同時に選んでおり、一体感を望んでいるようでした。

どんな街になったらよいか その他 3%



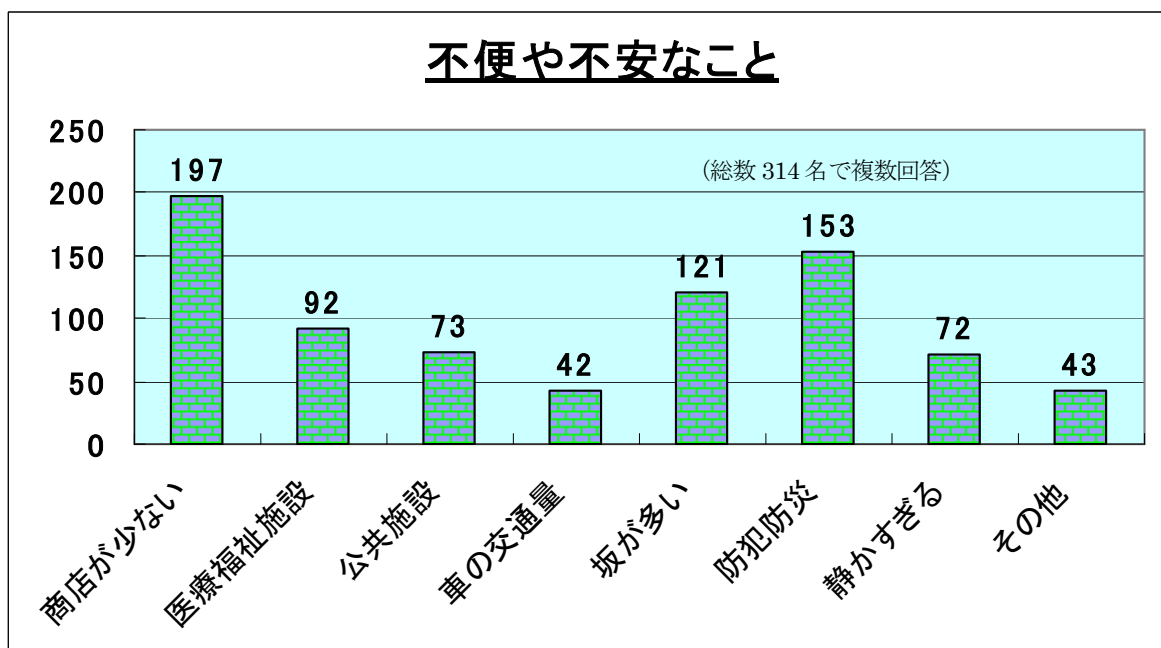
### (3) つくし野の街並み、環境、生活面について

① 住民は「緑豊かな閑静な」「広い敷地のゆとりある」住環境を重視してこの街を選びました。



回答者の多くがつくし野の住環境（閑静 72%・広い敷地 37%）を重視して、この街を選択しています。年齢層で見ると、40代以下でこの傾向が強く（特に広い敷地が46%と顕著）、僅差で60代以上、50代と続きます。案外、若い層の指向にあう街といえそう。また、50代以下では、親や親戚が住む18%、ここで育った10%、相続が8%と高率でした。

② 一方で「商店・飲食店が少なく不便」「防犯・防災面に不安」の声、施設充実への期待も。



## (4) 自由意見、その他

自由意見は、たくさんの方がご記入いただき、とても参考になりました。街づくりを考える会への応援もいただいて感激しております。

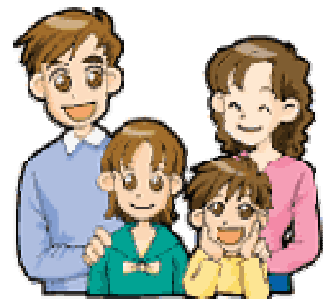
以下、主な意見を概略ですが集約してみました。これらの中身について更に突っ込んだアンケートは、次回以降に計画しております。

### ① 建築協約について

- ・ 維持存続を望む（環境維持に有効、地区計画等で実効性確保も）。
- ・ 部分見直し、緩和も必要（守る項目、緩和する項目色々あり、二世帯住宅への意見多数）。
- ・ 時代とともに見直して行って、若い世代に継承することも必要（高齢者の街に歯止めを）。
- ・ マンション／商店等も必要との意見、 拒否する意見

### ② 街づくりを考える会へのご意見

- ・ 活気のある街、若い世代の住みやすい街づくりを期待する。
- ・ あせらずじっくりと、（逆に）早く地区計画の実現を
- ・ 住宅等ハードだけでなくソフト面（防犯防災・イベント等）も。
- ・ 若い人の意見を取り入れていくべき。
- ・ 頑張ってください。昼間なら参加もしてみたい。



### ③ 街並み、環境、生活面について

- ・ 高齢者が増えて、防犯・防災面で不安（暗さ・空き巣対策、震災時助け合い等）。
- ・ 若い人との共生ができる街に。
- ・ 人口を増やし活気をつけるには、共同住宅、商店や公共施設（交番・図書館等）も必要。
- ・ 閑静な住環境を大事にしたい。



当考える会では、このようなつくし野三丁目の皆様の貴重なご意見を、今後の活動に活かしていきたいと考えております。

今後とも、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

皆さんの意見をお寄せ下さい  
「街づくりを考える会 広報」  
masashiro@msc.biglobe.ne.jp  
定例活動： 第3土曜 13:30～ つくし野センター  
いつからでも、自由にご参加下さい。